

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スパーク衣笠		
○保護者評価実施期間	2025年 3月13日		～ 2025年3月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 3月13日		～ 2025年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが楽しく通う事ができている。子どもの居場所になっている。	子どもの自己肯定感が高まるように関わる事を工夫している。	定期的な外部研修を受け、療育技術の向上を図る。
2	経験豊富な児発管が保護者の不安や悩みに寄り添うことができる。	定期的な面談以外でも、困りごとや悩み事がある場合は随時相談に乗れるように、コミュニケーションをとることを心掛けている。	保護者間交流イベントやスパーク協会のイベントのお知らせなどをこまめに行っていく。
3	個別療育を提供することできめ細かく子どもをみることができ、効果的に発達を促すことができる。	一対一で子どもに寄り添い、深く関わる事により信頼関係を構築している。	療育技術を高めるとともに、パート職員への教育を充実させる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パート職員への教育体制が整備されていない。	他の業務より優先できていない。 パート職員へ伝えるべき内容が体系化されていない。	今後は外部研修の参加を促すとともにこまめに情報伝達をしていく。
2	職員数が必要最低限であるため、急な病欠などの対応が難しい。	求人してもなかなか応募がない。また求職者と求人条件のミスマッチが多く、なかなか採用に繋がらない。	引き続き複数の媒体を利用しながら求人していくとともにリファラル採用も行っていく。
3	プログラム内容のバリエーションが少ない。	プログラム内容のバリエーションを増やすための対応が後手に回ってしまっている。	今後は動画プログラムなどを活用し、支援プログラムのバリエーションをどんどん増やしていく。